



みせん

瀬戸内海国立公園
宮島地区パーク
ボランティアの会

第31号 e

発行日
平成20年 3月1日

◇ 目 次 ◇

- | | |
|------------------|------------------------|
| P2 年末の集い、研修会 | P5 初めての経小屋山観察会 |
| P3 研修会要旨 古川 義文 | P6 弥山登山道の清掃 |
| P4 公募観察会 宮島の史跡探訪 | P7 投稿 中國に魅せられて
編集後記 |



千鳥別尺のヤマザクラ

(庄原市東城町千鳥別尺)

根回り周囲 6.7m, 胸高幹囲 4.6m, 樹高約 27m, 県内最大のヤマザクラで、樹形も美しく、幹に損傷もなく、この地域の荒神社の神木として保護されてきた。樹齢は約 400 年。平成6年に広島県天然記念物に指定された。

ヤマザクラは、本州・四国・九州・朝鮮半島南部に分布し、若葉の展開と同時に開花、花柄やガクが無毛な点で類似のエドヒガンと

区別される。

例年、4月下旬頃から5月上旬に開花、田植え（稻作）のために水を張った田んぼの水面に映る満開の桜はまた格別で神木としての風格がある。

東城町にはこの他、小奴可の要害桜（エドヒガン）や森湯谷のエドヒガンの巨木もある。

（写真・文） 六重部 篤志

PV年末の集い・研修会

日時 12月1日(土) 13:00~16:00

場所 杉ノ浦公民館(会議室)

参加者 西 自然保護官

足立 池下 井上 岩崎 大成 小川
 川崎 北野 佐渡 佐藤 坂本 渋谷
 島 末原 中道 野呂田 平田 古川
 文理 弁田 松田 宮崎 村上 森川
 矢吹 横路 六重部

例年会場としていた宮島支所が使えなくなつたため、今回は杉ノ浦公民館で、13時から研修会を実施しました。講師は当会幹事の古川さん、演題は「地図に親しもう(地形図について)」で豊富な知識をもとに判りやすく話していただきました。(次頁に要旨)

研修会のあと、今年度PV活動状況の写真をスクリーンに映しました。

その後、各部会に分かれ、今までの活動



山村茶屋での忘年会



に対する反省、来年度の活動計画についてミーティングを行いました。

夕方からは会場を山村茶屋に移し、恒例の忘年会、新鮮な殻付きカキバーベキューで盛り上がった、年末の集いでした。



研修会



部会ミーティング

4月5日(土) 総会

平成20年度PVの会 定期総会を下記要領で開催しますので、会員の皆様多数ご出席ください。

日時 4月5日(土) 10:30~12:00

(受付 10:10~)

場所 杉ノ浦公民館会議室

1、今年から杉ノ浦公民館に変更

2、午後からは小なきり浜の清掃活動を実施します。

研修会要旨 地図に親しもう！ 古川 義文

私は未知の山野に指定・設置されたコントロールを地図とコンパスを使って走行跋涉するオリエンテーリング競技、そのスポーツを通じて地図に魅せられている。

地図とは「地表の諸物体・現象を、一定の約束に従って、縮尺し、記号・文字を用いて平面上に表現した図」(広辞苑)という説明がされている。

それは、上空から見下ろしたように描かれた絵図、俯瞰図でもある。知らない所に出かける、目的の場所を探すには地図が必要になる。地図と言えば、学校で馴染んだ地図帳とともに、国土地理院が作成している地図でしょう。その代表格が1/25,000の地形図です。これは、実測図で、全国(北方四島を除く)を、およそ4,400枚でカバーされています。

地図上に地表のものすべてを描き表すことは不可能です。そこで、地図では、一部のものを省略や誇張し、縮尺や地図の目的別に応じて取捨選択、統一をし、記号や約束を使って表してきた。

地図は、一定のきまりによって作成されている。その基準となっているのが縮尺、記号、方位の三つです。これら図式は、時代の変化とともに、より利用しやすいよう改良されてきた。現在は、昭和61年式から世界測地系を採用した新しい規格の平成13年式の図式に切替わっている。

読図における方位は、普通コンパス(磁石)を用いて求めている。しかし、日本における磁針は、およそ5~10°西偏を示すから注意しなければならない(地図の真北に対して、あらかじめ、その西偏を示す磁北線を引いておくと便利)

コンパス・ワークには、進行方向の確認や現在地の確認などの操作方法がある。けれど読図の基本操作は、地図の正置である。まずコンパスを使って、地図と地形を同じ向きにする。次は、周り(現地)の建造物、道や景

色の状況を観察して、地図上の目標物と、照合してみる。そして、現在地を確認、知る方法です。

登山やハイキングに行くときどんな地図を備えるか? そこが、有名な場所ならば、登山用地図が発行されているから、この地図が利用できる。普通は、縮尺1/25,000(近郊、日帰り登山)および1/50,000(縦走登山)の地形図が持参されるだろう。

これらは一般図である。特定の内容に偏ることなく、表現した地図である。そのため、山間部にはルート選択に使われる小径や目標物になる、小さな特徴物の情報の記載が足りない。

道の交点、尾根や沢の接点や屈曲点、小ピーク(こぶ)、鞍部、支脈など、地図上で細

かく読み、確かめて現在地を確認しなければならない。特に等高線の読みに慣れておくことが大切である。

地図の世界でも、デジタル化の進む速さには、目を見張るものがある。テレビのニュース画面など、あの宇宙から迫るようズームしながら、世界各地を飛び回るように現れる映像地図。GPSを利用したカーナビは、どの進行方向であれ、地図は正置表示され、アナウンスとともに正しく導いてくれる。

地図の新しい形として、国土地理院も数値地図を刊行している。これは、C.Gにて地形の断面図や山の3D展望図などの加工、再現処理を可能にし、登山のルート調査、計画などに活用できる。

軽便で、安価な利点がある紙地図は、地図の活用が多様になった今後も使い続けられるだろう。

統一された記号で表示された地図だけれど現地の風景は、それぞれが異なった「容姿」をもっています。その風景を想像し、推察させる地図の世界は、多くの人びとを魅了することでしょう。



研修会で講話する古川会員

公募観察会

宮島の史跡探訪

日 時 11月25日(日)9:00~15:00
 コース 海辺の古径(大元公園~室浜砲台跡)
 参加者 井上 岩崎 小方(嗣)小川 尾川
 北野 小林(み)佐藤 島 新川 末原
 中道 野呂田 平山 弁田 丸平 村上
 横路 六重部 (環境省)藤本 AR
 公募一般参加者 15名

9時半から、まず参加者の皆さんがあなしくなる為のゲームを3種ほどして気軽に声を掛けるようになりました。厳島合戦の時の兵士の靈を鎮めるための血佛の話、標高300m以上の高地に育つモミノキが宮島では海辺にあることの不思議な話など楽しく聞きながら室浜砲台に向って歩きました。

植物では秋は花が少なく実を付けた植物が多い時期で赤い実ではソヨゴ、カンコノキ、タマミズキ、ミヤマガマズミ、サルトリイバラ、テリハノイバラ、シロダモ、カマツカ、青~黒い実ではサカキ、ヒサカキ、シャシャンボ、ミミズバイ、ヤマモガシ、アオツヅラフジ、タイミンタチバナ、美しい紫ではトサムラサキ、ヤブムラサキ、コムラサキ、白~

黄色ではセンダン、又、形の面白い実ではサカキカズラ、ティカカズラ、ミミズバイ、カンコノキ、ドングリではシリブカガシ、アラカシ、ウバメガシ、ツブラジイなど、花ではシロダモ、サザンカ、ツルグミだけ。

多々良浜では浜の名前の由来、埋め立てが



室浜砲台跡で

出来た話、シラウオの話など。紅葉、黄葉の美しさは海や空の色に映えて絵画的でした。

広大実験所で種から育てたヤマモガシやミヤジマシモツケなどの絶滅危惧種の話を聞き

砲台に着く。立派な石組みで囲まれた円形の砲台跡や土盛りできれいなレンガや石で出来た入口の弾薬庫、防火用水池、その上の方に兵舎跡、広大実験所の所は砲台本部跡でここまで車道は軍用道路だったそうです。

ここからウバメガシ林の中を通り浜に出て穏やかな海を見ながら昼食をとる。

帰りは三々五々に午前の復習や写真撮影などで晩秋を満喫して大元公園で無事解散しました。(小林 みどり)



広大植物実験所での参加者

初めての経小屋山観察会

対岸から
宮島を一望

日 時 1月 19 日 (土) 9:00~15:00

参加者 足立 岩崎 小方(嗣) 川崎 北野
佐渡 佐藤 田中 富田 中道 中本
文理 幸田 村上 柳瀬 横路

大野浦駅前 9:05 出発、よく整備された塩屋ルートより城山 (265.6m) へ。高速道路をくぐり抜け墓苑にて準備体操。

岩の上の長方形の水溜り「馬のたらい」着 10:05、三等三角点と門山城跡の石碑がある山頂へ。素晴らしい展望と柱穴、刀掛けなどの遺構がある、門山城について横路さんの説明を受け往時を偲ぶ。

いよいよ経小屋山 (596.6m) へ向う。妹背の滝ルートと出会う四差路を 11:00 出発、これから急峻を思うと妹背ルートで帰ろうか、との思いがかすめる。予定時間より遅れながら山頂を目指すと大峰山、大野権現が見えてくる。岩場はロープが張ってあり有難い。

12:20 に山頂到着。昼食後、宮島の多々良浦、岩船岳、大川浦・・目を移すと凜とした海面に浮かぶ島々の向こうに四国石鎧山が見え感動！私にとって七度目の山頂で初めて見ることが出来ました。

戦時に飛行機の燃料の代用にするために

樹液を採集した、傷跡の痛々しいクロマツの群生、中道さんの話を聞き、いつまでも平和が続き、自然が破壊されないことを願いつつ、宮浜温泉ルートを下山しました。

病気でプランクがあり、もう登れないと諦めていた経小屋の山頂に佇み、本当に美しい宮島の全体を展望することが出来、文理さんから岩の成り立ち、中道さんの経小屋山についてのお話もあり、大変有意義な一日でした。

事前に横路さんと文理さんが下見をしてくださったとのこと、本当に有難うございました。
(田中 敏子)



岩の成り立ちを説明する文理さん



城山・門山城跡での参加者

(退会者) 3月

尾川 健
河野 浩一
新川 博
高光 幸三
竹内 栄太郎
坪井 正明
名越 正子
古川 義文
前田 勲
山形 妙子
山坂 健治

11名退会され会員
総数は 48 名とな
りました。

弥山登山道の清掃

日時 12月8日(土) 9:00~14:00

参加者 足立 池下 小林ペア 佐伯 佐藤
未原 富田 中道 中本 野呂田 平田
平山 佛崎 古川 文理 弁田 宮崎
村上 柳瀬 六重部

12月8日 21名の会員が参加して、新年の初日の出、登山を気持ちよくしていただくために、弥山登山道の獅子岩駅から弥山山頂及び紅葉谷ルートの清掃を行いました。

作業内容は、路面の履き清掃、溝の中の葉

や砂の除去、登山道に覆いかぶさっていたシダを刈りました。

後日、登山者や宮島ロープウェーの関係者から、見違えるほどに、きれいになったと御礼の連絡がありました。

また、登山道清掃の趣旨に理解し、無料乗車の協力をいただいた宮島ロープウェーに感謝と御礼を申し上げます。

(末原 義秋)



登山道の路面清掃



倒れた標識の修復



弥山山頂での参加者

投稿 中国に魅せられて 佐伯 宣雄

私は中国・四川省・成都を拠点に四川省、雲南省、貴州省と重慶市がある中国南西部を、年数回、個人旅行をしています。

目的は（1）自然・文化世界遺産（2）中国の歴史遺産（3）少数民族の探訪です。上記4地域合計で人口は約2億2百万人、面積は日本の3倍強もあります。

中国には漢族と55の少数民族がいます。雲南省には25の少数民族が独自の文化を保ちながら暮らし、日本と共通する風習もしばしば眼にする事があります。

私は訪問した土地の人々と極力交わり、そこの人達と同じテーブルで同じ物を飲み、同じ物を食べます。だから、写真にあるような犬肉（中国では狗肉）でも出されたら食べる。地域内移動は殆んどバスを利用し、中国人が泊まる宿に泊まる。今やあの有名なニーハオトイレも平気です。毎日が興奮と驚きと幻



狗肉の解体、調理

滅の連続です。もう来るのは止めたと決心しても、2ヵ月後にはリュックを背負い、成都空港に立っている自分を発見します。

私が中国南西部を旅行するキッカケとなつたのは四姑娘山、九寨溝、黃龍や都江堰等の自然・文化世界遺産を旅行した時であり、その時、そのすばらしさと共に、その汚さにも驚いたことを鮮明に覚えています。機会があり、日本の自然保護ボランティア活動の話をして、私の知人達は理解しませんでした。清掃作業員がいるのに、なぜ無料でそんな仕事をするのかと逆に質問されました。

中国の大気汚染、水質汚染、自然環境破壊が近年しばしば報道されるが、現地で直接体験すると、技術援助、資金援助も必要であるが、国民の自然環境、衛生に関する意識改革の必要性を強く感じました。

10周年記念行事アイデア募集

PVの会は来年（2009年）6月に設立10周年となります。この機会に会員の皆さんから記念行事のアイデアを募ることにします。例えば

- ・記念の植樹をする
- ・記念講演会を開催するなど10周年記念行事に相応しいアイデアをお寄せ下さい。採用案には記念品を贈呈します。

提案締切 平成20年9月末
提出先 PVの会 幹事

◇編集後記◇

▼経小屋山観察会で、山頂付近に現存し、松根油採取跡が残る、クロマツの木を見て、小学生の時、学校から松根油採取に行ったことを懐かしく思い出しました。無残な姿を曝しながらも枯れることなく、生き長らえる、自然の生命力の神秘性に感動しました。

（足立）

瀬戸内海国立公園

宮島地区パークボランティアの会

事務局 環境省 中国四国地方
環境事務所 広島事務所

（〒730-0012）

広島市中区上八丁堀6番30号

広島合同庁舎2号館6階

TEL(082)223-7450・FAX(082)223-7451

宮島詰所

（〒739-0505）廿日市市宮島町1162-18
(宮島桟橋2F)